

好きなこと

①説明すること／教えること	
経験に基づく事実 (好きなこと/理由)	説明する／教えることが好き 理由: 相手と意見・認識・方向性が一致することに安心感を覚える
裏付ける経験	塾講師や仕事の経験から、 自分の説明を相手が理解してくれた時がうれしい。 相手に理解してもらおうと努力する。
対象	<ul style="list-style-type: none"> ■個人(例: 個別指導塾・電話で説明) 一番好き、一致しているかが明確 ■集団(例: 集団塾・チーム内共有) 苦手、全員本当に一致しているか確認が難しい。 本当に伝わっているか不安になる。
理由を裏付ける資質	<p>【調和性】</p> 意見の一致を求める。 対立から得られるものはないと考える。
資質構築のエピソード	幼い頃から両親が不仲であったため、対立から得られるものがないと実感していた
まとめ	意見の一致を求め、皆同じ方向で進めることに安心感と喜びを得る。 説明することは安心感を得るための一つの手段である。 「主体的な自分」と「客観的な自分」が一致する自己分析はとても楽しい。

②深い話をする	
経験に基づく事実 (好きなこと/理由)	人と深い話をするのが好き 理由: 心から信頼できる関係をつくりたいと思っている。 信頼できる友人といるときに大きな喜びや力を得る。
裏付ける経験	友人と飲みに行った際にその人の感情、目標、不安、夢を深く理解できるとうれしい。 自分のことの理解してもらえるとうれしい。
対象	■既知っている人かつ自分が「自分に近い」と感じる人に魅かれる
理由を裏付ける資質	<p>【親密性】</p> 他の人たちとの緊密な関係を楽しむ。 互いのことを深く知ることによって喜びを感じる。 人間関係はそれが「本物」である場合にのみ価値を持つ。⇒信念
資質構築のエピソード	小さい頃から祖母に友人を大切にしようと言われてきた。
メモ1	<p>【深い話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■定義: 互いのパーソナルな部分話す。 ■例: 育ち・気持ち・家庭状況・恋愛観・将来・好きなこと・仕事に対する思い・不安なこと <p>【浅い話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■定義: 事実を話す?? ■例: 天気・政治・芸能ゴシップ・技術・店の話 ■所感: 日経新聞に興味ない理由 「好きなこと」とか「深い話をするための導入」に必要。 <p>【事務的な話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■仕事とか共通の話題。パーソナルな部分がでない。(浅い話に入る?) <p>【注意】</p> 深い話だけでは会話的にNGで、浅い話のバリエーションが必要。 自分は浅い話の幅が狭いから、大人数の飲み会とか、知らない人との飲み会が苦手なんだ。
メモ2	<p>【将来に活かす】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■信頼できる安定した友人グループの一員になったとき、あなたは最高の力を発揮する傾向にあります